

授業科目

地域災害・防災論I

担当教員名 松岡 輝彦、安達 哲浩、(別府 茂(非常勤))	対象学年	1	対象学科	救急
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	

授業の概要

災害時のさまざまなインフラ整備要件のひとつに医療が位置づけられる。しかし、平常時との違いは「全てに対し最良の対応を行う」のではなく「限りある資源で最大の効果を発揮する」ことにある。

本科目では、このことを可能とするために、災害に対して持つべき考え方、行政全体の動きなどについて学習する。

授業の目的

災害時のさまざまなインフラ整備要件のひとつに医療が位置づけられる。しかし、平常時との違いは「全てに対し最良の対応を行う」のではなく「限りある資源で最大の効果を発揮する」ことにある。

本科目では、このことを可能とするために、災害に対して持つべき考え方、行政全体の動きなどについて理解する。

学習目標

災害時のさまざまなインフラ整備要件のひとつに医療が位置づけられる。しかし、平常時との違いは「全てに対し最良の対応を行う」のではなく「限りある資源で最大の効果を発揮する」ことにある。

本科目では、このことを可能とするために、災害に対して持つべき考え方、行政全体の動きなどについて理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	近年の自然災害に学ぶ (テキスト第1講)	講義	松岡 輝彦
2	防災士の役割 (テキスト第2講)	講義	別府 茂(非常勤)
3	身近でできる防災対策 (テキスト第3講)	講義	安達 哲浩
4	災害医療 (テキスト第7講)	講義	安達 哲浩
5	行政の災害対応1 (テキスト第8講)	講義	松岡 輝彦
6	行政の災害対応2 (テキスト第8講)	講義	松岡 輝彦
7	避難所運営と仮設住宅の暮らし (テキスト第9講)	講義	松岡 輝彦
8	災害と支援制度 (テキスト第10講)	講義	松岡 輝彦

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	防災士教本		日本防災士機構	2015年	3,000円	直販のみ
参考書						
その他の資料						

評価方法

毎回の講義ごとにレポートを提出、評価対象とする。

履修上の留意点

以下に挙げる場合は、科目試験の判定を放棄したものとみなす。

1. 1～14回のうち5回以上の欠席がある場合。
2. 指定した提出物が期限(別途提示)までに提出されていない場合。
3. 授業態度不良と判断された場合。

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に担当教員より連絡する。